

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 4 年 2 月 1 日(2022.2.1)

【公開番号】特開 2022-6262(P2022-6262A)
【公開日】令和 4 年 1 月 13 日(2022.1.13)
【年通号数】公開公報(特許)2022-005
【出願番号】特願 2020-108414(P2020-108414)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 1 月 20 日(2022.1.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球を用いた遊技が可能であって、遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤に備えられた始動口への入球に基づいて抽選を行い、前記抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機において、

前記遊技機は前記遊技盤を少なくとも含む盤側部品を備え、

前記盤側部品は、演出に関する電子部品が実装されている演出基板と、前記演出基板に備えた光源からの光を透光させる透光部を有する前方体とを備え、

前記演出基板は、表面に白色のソルダレジストが施されていると共に、外周が所定形状に切断形成されており、

30

切断形成された前記演出基板の外周の端面の少なくとも一部は、他の端面とは異なる特定端面とされ、

前記特定端面の面粗度は、前記特定端面ではない他の端面の面粗度とは異なる面粗度とされ、前記特定端面と前記他の端面とを識別可能であり、

前記前方体は、後方へ延出する側壁部を有し、

前記演出基板は、前記前方体の前記側壁部に被覆されることで前記特定端面が遊技者側から視認し難くなる位置に形成される

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

40

遊技球を用いた遊技が可能であって、遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を少なくとも含む盤側部品を具備する遊技機において、

前記盤側部品は、演出に関する電子部品が実装されている演出基板と、前記演出基板に備えた光源からの光を透光させる透光部を有する前方体とを備え、

前記演出基板は、表面に白色のソルダレジストが施されていると共に、外周が所定形状に切断形成されており、

切断形成された前記演出基板の外周の端面の少なくとも一部は、他の端面とは異なる特定端面とされ、

前記特定端面の面粗度は、前記特定端面ではない他の端面の面粗度とは異なる面粗度とされ、前記特定端面と前記他の端面とを識別可能であり、

50

前記前方体は、後方へ延出する側壁部を有し、

前記演出基板は、前記前方体の前記側壁部に被覆されることで前記特定端面が遊技者側から視認し難くなる位置に形成されることを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

10

しかしながら、特許文献１の技術には、改良の余地があり、演出基板による演出を十分に実行することができなくなり、遊技者を楽しませることができなくなることで、遊技者の興趣を低下させてしまう恐れがあった。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

20

本発明の請求項１は、

「遊技球を用いた遊技が可能であって、遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤に備えられた始動口への入球に基づいて抽選を行い、前記抽選の結果に基づいて遊技者に利益を付与する遊技機において、

前記遊技機は前記遊技盤を少なくとも含む盤側部品を備え、

前記盤側部品は、演出に関する電子部品が実装されている演出基板と、前記演出基板に備えた光源からの光を透光させる透光部を有する前方体とを備え、

前記演出基板は、表面に白色のソルダレジストが施されていると共に、外周が所定形状に切断形成されており、

切断形成された前記演出基板の外周の端面の少なくとも一部は、他の端面とは異なる特定端面とされ、

30

前記特定端面の面粗度は、前記特定端面ではない他の端面の面粗度とは異なる面粗度とされ、前記特定端面と前記他の端面とを識別可能であり、

前記前方体は、後方へ延出する側壁部を有し、

前記演出基板は、前記前方体の前記側壁部に被覆されることで前記特定端面が遊技者側から視認し難くなる位置に形成される

ことを特徴とする遊技機。」であり、また請求項２は、

「遊技球を用いた遊技が可能であって、遊技球が流下可能な遊技領域を有する遊技盤を少なくとも含む盤側部品を具備する遊技機において、

前記盤側部品は、演出に関する電子部品が実装されている演出基板と、前記演出基板に備えた光源からの光を透光させる透光部を有する前方体とを備え、

40

前記演出基板は、表面に白色のソルダレジストが施されていると共に、外周が所定形状に切断形成されており、

切断形成された前記演出基板の外周の端面の少なくとも一部は、他の端面とは異なる特定端面とされ、

前記特定端面の面粗度は、前記特定端面ではない他の端面の面粗度とは異なる面粗度とされ、前記特定端面と前記他の端面とを識別可能であり、

前記前方体は、後方へ延出する側壁部を有し、

前記演出基板は、前記前方体の前記側壁部に被覆されることで前記特定端面が遊技者側から視認し難くなる位置に形成される

ことを特徴とする遊技機。」である。

50

そして、本発明とは別の発明として、以下の手段を例示する。

手段１：遊技機において、

当落抽選の結果が大当たり結果となった場合に、遊技者に有利な大当たり遊技状態に制御可能な遊技機において、

図柄の変動表示中に行う演出に関する電子部品が実装されている演出基板を備え、

該演出基板は、

基板表面に明色のソルダレジストが施されていると共に、基板外周の特定部位に基板外周を形成した際に他の部位とは異なる痕跡が生じた特定痕跡部が設けられており、

複数の前記特定痕跡部により囲まれている特定領域に、所定の電子部品が設けられているものであることを特徴とする。

10

20

30

40

50